第 2 版（2026 年 3 月 16 日作成）

臨床研究に関する情報

本学では、以下の研究（教育・研修）を実施しております。この研究は、亡くなられて献体していただいたご遺体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この研究は関西医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や献体者個人の人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》　献体されたご遺体を用いた上位胸椎での硬膜外穿刺におけるミクストリアリティシステム併用超音波ガイド下穿刺法の有用性についての手技研修

《研究機関名・研究責任者》　関西医科大学医学部・麻酔科学講座　診療教授　中本達夫

《研究の目的》本研究では、亡くなられた関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体を用い、硬膜外穿刺手技における mixed reality 技術を用いた穿刺補助システムの構築を行い、医療の安全向上と先端医療の普及を図ることを目的としています。

《研究期間》研究機関の長の承認日～2027 年 3 月 31 日

《研究の方法》

●対象 関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体

●研究に用いる試料・情報の種類

故白菊会会員により献体されたご遺体を用います。生前同意によりご遺体の用途は解剖学の教育（学生を対象とした教育）・研究に加え、臨床教育（手術手技研修等）・研究とされています。

《試料・情報の利用または提供を開始する予定日》　研究機関の長の承認日

《研究調査項目》

［主要評価項目］

・MR システムにて行った硬膜外腔への穿刺針到達率（成功率）

［副次評価項目］

・MR システムでの穿刺手技に要した時間

・MR システムでの穿刺時に運針修正を要した回数

・MR システム穿刺での失敗時のズレ方向の解剖学的評価

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究でのご遺体および検体の取扱い》

お預かりしたご遺体は、個人の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

本研究ではご遺体に対して MR システムを用いた手技にて硬膜外穿刺を行わせていただき、上記研究調査項目についての評価・検証を行わせていただきます。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は「国立研究開発法人日本医療研究開発機構」より研究資金の提供を得て行うものです。研究者が該当機構から独立して計画して実施します。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究（教育・研修）にご遺体を用いることをご了解いただけない白菊会会員、およびそのご家族・ご遺族は、以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学　臨床解剖教育研究センター　副センター長　中野洋輔
〒573-1010　大阪府枚方市新町 2-5-1　　電話：072-804-0101（内線 2304）